

重点事業一覧

★：新規計上事業 (拡)：拡充事業 下線：民間の取組

基本目標	基本施策	No.	事業名	事業概要	実施主体
【基本目標1】 身体のことを考え、食事のバランスなどに心がけて食べます。	子どもの頃からの健全な食生活の推進	1	3歳児健康診査における栄養指導実施事業	3歳児健康診査時に、保護者を対象に食生活に関する講話を行い、子どもの朝食欠食や肥満予防に取り組む。	市
		2	食に関する指導実施事業	子どもたちに、生きた教材である給食を活用し、給食の時間だけでなく、教科や学級活動、学校行事、総合的な学習時間などで食に関する指導を行い、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるようにする。	小学校 中学校
		3	★高校・大学等との食育連携事業	高校や大学と連携し、学園祭や学食の場を活用した、若い世代自身が参加し、食への関心の向上が図れるような啓発事業を実施する。	高校 大学等
		4	食育教室実施事業	食育に関する講話や実習を通して、日頃の食習慣を見直し、食生活改善に取り組めるよう支援する。	市
	生活習慣病の予防や改善に向けた食育の推進	15	★働き盛り世代を対象とした食育推進事業	働き盛り世代への食育の普及啓発を図るため、事業所や給食施設を対象に、レシピ配布、パネル展示、リーフレット配布などの啓発事業を実施する。	市 宇都宮市地域・職域連携推進協議会
		16	食育出前講座実施事業	働き盛り世代を対象に、健全な食生活の実践につながる栄養に関する講話や調理実習を実施する。	市
	33	歯科健診実施事業	30歳以上の市民を対象に歯科健診を実施し、歯周疾患の早期発見とその予防をすることで、健康で豊かな食生活が営めるようにする。	市	
【基本目標2】 家庭だけでなく地域や職場で食を支え、楽しく食べます。	家庭における食育の推進	39	お弁当の日の実施事業	お弁当を親子一緒に作る経験を通じて、食事について親子で共に考える機会を創出するとともに、子どもたちの食への関心を高める。また、お弁当の栄養バランスや献立を考えたり、食材の購入などを通して、自らの健康を考え、管理できる能力の育成を図る。	小学校 中学校
		41	★ワーク・ライフ・バランス推進事業	男性中心の長時間労働を前提とした働き方を見直し、誰もが仕事と家庭との両立を実現するため、「企業向けセミナー」や「家族で参加するセミナー」を実施し、家族のふれあいや共食を促進する。	市
	地域や職場における食育の推進	48	健康づくり推進員・食生活改善推進員の活動支援事業	健康づくり推進員・食生活改善推進員を養成し、食育や健康づくりの取組を地域の中でリードできる人材の育成を図るとともに、地域における健康づくり実践活動を支援する。	市
		49	(拡) 宮っこ食育応援団との連携事業	宮っこ食育応援団やとちぎのヘルシーグルメ推進店と連携し、健康的な食事を提供する店舗を増やすことや、食育に関するイベントやヘルシーメニューを活用した食育の啓発を行う。	市
		50	★地域における食育推進事業	地域の特性やライフステージに応じた課題をテーマとした体験を通じた食育の普及啓発事業や地域の子どもの食を支援する事業を行う。	食生活改善推進員協議会 地域団体
【基本目標3】 食への関心や感謝の気持ちを持ち、地元でとれたものを無駄なく、おいしく食べます。	食の循環や環境への促進	56	地産地消推進事業	地産地消を推進するため、地産地消推進店の認定やその活用によるキャンペーンなどを実施する。	市
		57	(拡) もったいない生ごみ減量化事業	「もったいない生ごみ」などの食品ロスを削減するため、イベントや分別講習会・子ども向けの環境出前講座など、あらゆる機会や媒体を活用し、市民一人ひとりの意識・行動改革に向けた周知啓発の強化を図るとともに、外食・小売等の各事業者との連携による食べ切り・使い切りを推進する。	市
	食文化の継承	70	学校給食における食文化の継承推進事業	学校給食において、郷土料理や伝統料理を献立に取り入れ、それぞれの料理や地元の食材などについての理解を深める。	小・中学校
		71	文化イベント事業における伝統食の周知啓発事業	食の大切さを再認識し、郷土の食文化への関心を高めるため、宇都宮伝統文化フェスティバルなどのイベントにおいて、宇都宮の郷土料理・伝統料理を紹介し、周知啓発を進める。	宇都宮伝統文化連絡協議会
	76	市民・事業者へのリスクコミュニケーション推進事業	市民・事業者・行政の相互理解を図るため、市民や事業者の関心が高い食中毒予防や食品添加物などをテーマとし、出前講座等を開催する。	市	